

大形チャンバー室 50℃まで昇温可能です！

弊社で所有しております「大形チャンバー室」は設備を整え、50℃まで対応可能となりました。昨今の夏の暑さなどにより、室内は50℃に達する場合があります。そういった環境でのVOC放散量や、木材の変形など実際に試験・検討することが可能です。

活用事例

● VOC放散試験

通常のJIS試験では夏場の室温(28℃、50%)を想定した環境での試験ですが、猛暑日を想定した温度(35℃~40℃)でのVOC放散量を確認可能です。

● 移動体(自動車・電車・航空機・船)のVOC内装材試験

室内は温度が高くなるため、50℃などの高温条件下での試験が必要です。座席シートなどの大きい部材の試験に対応可能です。

● 再現試験

原因調査含め、一定の環境下での変形、変色等がないかを確認可能です。小型~大型の製品・部品等対応可能です。



大形チャンバー(室内)



大形チャンバー室(外観)

参考情報(各設定:上限・下限値)

これまで

項目	
温度	18~30℃ (±0.1℃)
湿度	40~65% (±1.0%)
換気回数	0~1.0回/時間
部屋サイズ	幅3.52m×奥行2.84m×高さ2.40m [24㎡]



今後

項目	
温度	18~ 50 ℃ (±0.1℃)
湿度	40~65% (±1.0%)
換気回数	0~1.0回/時間
部屋サイズ	幅3.52m×奥行2.84m×高さ2.40m [24㎡]

※大形チャンバー試験(JIS A 1911,1912)について詳細は下記ページをご参照ください。
[ボーケンHP:大形チャンバー法\(JIS A 1911及び1912準拠のVOC放散速度試験\)](#)

自動車VOC試験や反り・縮みの測定試験など、大形チャンバー室を活用した試験を実施しております。お気軽にお問合せいただき、「大形チャンバー室」をご活用ください♪



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

大阪認証・分析センター

TEL 06-6577-0031 FAX 06-6577-0033